



ライズ学園日記



『うわあ！みてみて！この黒板おつきーい！学校みたい！』

谷田部圏民センターの調理室をはじめて訪れた日
一人の男の子が楽しげな声をあげた



男の子が初めてライズ学園の教室を訪れたのは去年の夏の始まり
お母さんの後ろに隠れるようにして
恥ずかしそうにみんなの様子を伺っていた
『学校には全然行ってないの？』
『まあ、今はね、まったく行ってないかな』
『ここで、何かやりたいこととかある？』
『ないかな』
居心地悪そうな照れ笑いで男の子は答えた



不登校と呼ばれる子たちの、じりじりと自分で自分を追いつめるような痛み

『学校に行ってきました』と笑顔で報告してくれた女の子は数週間後
『だけど、まだ、教室には行けてないんです』と
うつむきながら呟いた

学校に行っていない子どもたちは、学校を忘れているわけではない
学校ではない場所を見つけた子どもたちも
いつもどこかで学校を思っている
だから私は『行かなくていいよ』なんて言えない



大きな黒板を指差して、叫んだ男の子は
私がそんなことを思っている間に
慣れない手つきで菜箸を持ち、一生懸命「オムレツ」づくり
『学校みたいっ！』こんど彼がそう言ったら
思いっきり抱きしめてこう言おう
『ほんとだっ。学校みたいっ』
『行きたくなったら、いつでも言ってね。行きたくなるまで、一緒に居ようか？』

4月15日

牛久沼まで歩け歩けの競歩大会！



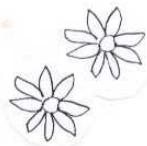
『しらさぎよ春風になぜ低く飛ぶ』君の一句！お見事！



4月22日

ひたち海浜公園まで遠足！うさぎのかさを狙って

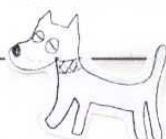
河童のお皿ゲームに没頭してたのだあれ？



5月22日



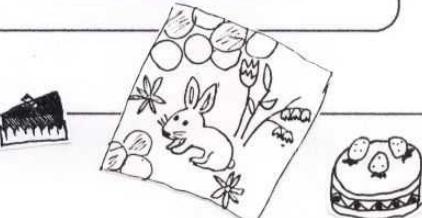
なすにかぼちゃにとうもろこし
せっせと畑を耕して苗を植えつけた
初めての農作業日！



6月26日



時流にのってサッカー大会
ちゃんのシートに
○先生の腰がぎくっ…



7月3日

シャガール展&上野動物園まで遠足！ゴリラのももたろうくんの誕生会に遭遇！！



7月10日

ふみふみふみばんばんばん…これ、うどん打ちの音です！同日、手作り用具で
風向き調べて扇風機G.E.Tに一役かったリヴォルヴかぜ研究所発足（今いすこ？）

7月22日



田井ミュージアムまで、ででんってんと太鼓をたたきに
即興朗読会「一本の木」の開催も！感激でした

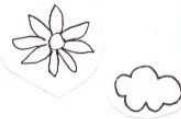


8月5日

ライズの夏恒例！



すいかわり大会



負けず嫌いの男性陣の



鬼気迫る形相に



レディーたち一同



圧倒されました…

ライズ学園日記編集後記

つくば山の太鼓に向かう途中にある川原
でのピクニックや体育館で息せき切って
ドッヂボールをした9月。

10月にははじめての宿泊学習を計画
しています。

教室で1日を過ごすと、誰かが声を荒げ
たり、拗ねた顔をみせたり、ぶうっと
ふくれたりすることもあります。

それでもわははははと皆で笑いあえる瞬間
があるから、今日も私は教室に向かいます。

いつも笑顔じゃなくていい。誰かのことばに、心の動きに、自分のことばが
心が動いている。それは、とても素敵な
ことだと思うから。



地域ポータルサイト構想について part 2

～「教師と子どもの学校」から「地域社会の中の学校へ」～

大切な子ども達の教育が、人まかせで良いはずがありません。ライズでは、教育は地域で支えていくものと考えています。

つくばには日本の頭脳が暮らしているとも言われます。学習を進めていく中で、何か子ども達が疑問を抱いたとき、研究者のみなさんや地域の歴史や文化に詳しい人々から、もっと気軽に話を伺うことがでいいものでしょうか。私たちはつくば市を中心とした学校・行政・研究機関・NPO等、各組織間の交流・協働を行うために、インターネットを活用した「地域ポータルサイト」を計画しています。

例えば、ある子が「ペットボトルを1本燃やした時にどのくらいのダイオキシンが発生するの?」「今、どのくらいの量のペットボトルがリサイクルされているの?」と疑問をもったとします。しかし、本やインターネットのホームページ等で調べるのはとても大変な作業です。親や学校の先生に聞いても、正確な答えを返すことは難しいでしょう。図書館に行って調べたとしても、古いデータしか得られないということもあるでしょう。

そんな時に、この「地域ポータルサイト」に質問を載せたとします。(①) この「地域ポータルサイト」には、研究者のみなさんや環境問題に取り組む市民活動団体のみなさんに講師として登録していただきます。(②) 忙しくて学校に行くまではできないという方にも、昼休みのわずかな時間を使って、即座に専門的な観点からの助言や情報を提供していただけるようにします。(③④)

また、福祉に興味を持ち、実際に活動に参加したいと考えた子ども達（もちろん、大人も）には、「地域ポータルサイト」内のボランティア・マッチング掲示板に参加希望を出してもらいます(⑤)。専属のコーディネーターが、希望者と福祉団体を結び付けるマッチングを行なえば(⑥～⑧)、これまで興味を持ちながらも活動に参加できずにいた人にも参加の機会を提供することができます。(⑨)

さらにこの「地域ポータルサイト」に人材バンクを設ければ、「総合的学习の時間」等に合わせて、地域で活躍しているみなさん、たとえばお豆腐やさんにその作り方を教えていただくなど、生きた講義を聞くことも容易になります。これまでの人材バンクといえば、冊子にまとめられた情報をもとに1軒1軒電話で連絡を取るなどしていましたが、ネット上の掲示板を使えば、ニーズに合った方で、しかも日程的に協力が可能な方と効率的に連絡を取ることが可能になります。冊子に掲載できる情報量にはおのずと限界がありましたが、ネット上であれば市町村を超えた人探しもできるようになります。

ライズでは地域の中の小さな学校を目指しています。地域ポータルサイトに接続できれば、既存の小中学校はもちろん、私達のような小さな学校でもその活動範囲を無限に広げができるようになります。この新しい「道具」を活用して、より充実した共育（教育）ができるようになればと考えています。

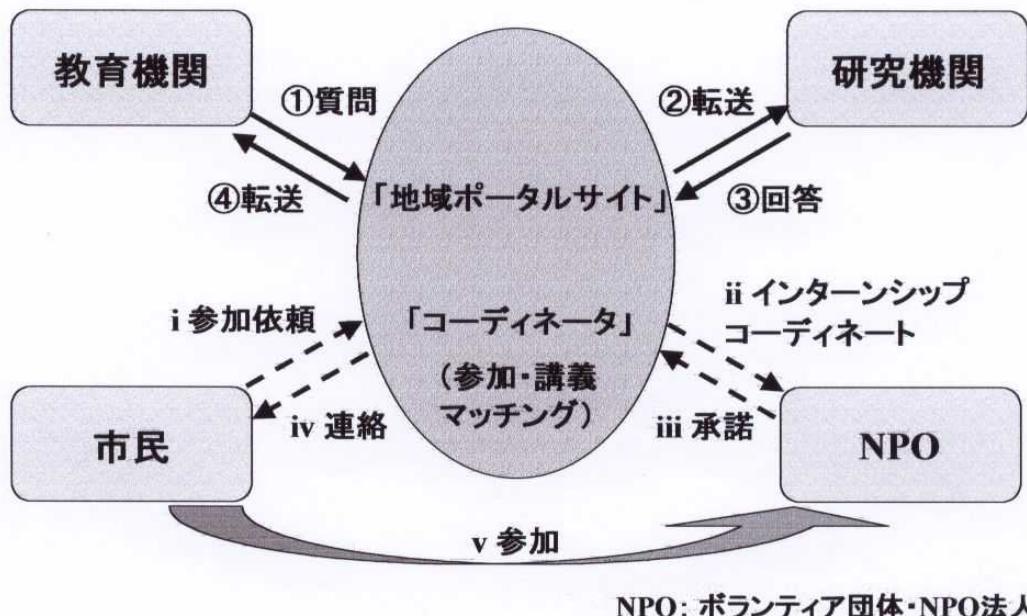


図1 「地域ポータルサイト概念図」

総合型地域スポーツ・文化クラブ構想について part 1

～学校に行っていなくたって、クラブ活動を楽しみたい～

文部科学省では、「スポーツ振興基本計画」の最重点政策として、「総合型地域スポーツクラブ」の育成事業を推進しています。

これまで学校を卒業してしまうと、スポーツや文化クラブの活動からは縁遠くなってしまいがちでした。また不登校の子ども達にとっては、学校に行かないということすなわち、クラブ活動を楽しむ機会まで失われてしまうということでもありました。これらの活動は、必ずしも学校だけを軸にして行われるべきものではありません。総合型地域スポーツ・文化クラブの設置は、コミュニティーを活性化し、子どもから大人まで生涯を通じた豊かな学び、ふれあいの場を提供します。不登校など学校にうまく適応できなかった子ども達にも、新たな自己表現の場を与え、引きこもりなどの問題を未然に防ぐことも期待できます。

さらに、ソフトボールや演劇など、単独校では部員集めや指導者の確保が難しいクラブも、例えば市町村ごとに、小学生から成人までを対象範囲とすればその運営が可能になります。同じ種目を選ぶにしても、オリンピック選手になることを夢見る子ども達は、毎日厳しい練習を重ねるクラブを選択し、上手ではなくてもスポーツを楽しみたいという子ども達は、それなりの活動をするクラブを選択するなど、選択肢を広げることもできます。他団体との協力の下、ライズではこの総合型地域スポーツ・文化クラブの設置にも積極的に取り組んでいます。



NPO法人
リヴォルヴ学校研究所（ライズ）

二の宮事務所
〒305-0051
つくば市二の宮4-8-3
1-404
電話/FAX
0298(56)8143
E-mail
rise@mail1.accsnet.ne.jp

ライズ学園 谷田部教室
〒305-0861
つくば市谷田部2983
(アラキヤさん2階)

ホームページも
ご覧ください！
<http://www.rise.gr.jp>

スタッフのつばやき



一多様な考え方

先日洞峰公園の自然観察会に参加した。いつものことながら、鴨や鯉にえさをやっている家族づれが目につく。

「えさをやることは彼らの生態系に悪影響があるのではないか？」とは参加者の質問。

環境研の先生。「確かにその行為自体よい影響はあたえないでしょう。一方まだ動物園にも行ったことがない赤ちゃんが、最初に身近に接する小動物でもあります。この子供たちが動物好きになり、長じて自然を大切にする大人になってくれるかも知れないことを思うと一概に悪いことばかりともいえない」

植物の先生。「日本を経由する渡り鳥が通過する国々には、日本より貧しい国が多く、そのような国々では『渡り鳥は保護したいがとてもえさをやる経済的余裕がない。豊かな日本でどうぞ十分食べさせてやってください』といっています」

別の場所で土地の古者が言った。「洞峰公園が出来てから、自然がすっかり貧しくなった。蛇もかえるもいなくなったりし、じゅん菜もほとんどなくなった」

公園は市民にとって憩いの場であるが、おじいさんの言われることも事実だと思う。さて皆さんはどう思いますか？

（リヴォルヴ学校教育研究所副理事長 秋元一浩）

ライズ学園生徒募集！！

不登校児童・生徒のための

ライズ学園 専門クラス

ライズでは、学校に行かずにいる子ども達のための、専門クラスを開設しています。元公立学校の教師や筑波大学の院生など、豊富な経験をもつベテランスタッフと活気にあふれる若手スタッフが、算数や国語、英語などの学習をサポートするほか、スポーツや絵画造形教室、調理教室など体験的な学習も積極的に取り入れています。コンピュータを使ってのCAI学習も行っています。

・自分自身を肯定的にとらえられるようにすること

家庭的な雰囲気の中、スタッフや子ども達同士のかかわり合いを通して、少しずつ自信を身につけられるようにします。

・何をするかを決めるのは自分自身

体内にエネルギーが満ちてくれれば、自然と「何かをしてみたい」という意欲がわいてくるものです。子ども達自身の意志を大切に、それぞれの興味や関心、成長のペースに合わせて学習を進められるようにします。時間割も自分自身で決めます。

入学対象：小学3年生～中学3年生

開級日時：月・水・木・金曜日

午前10:00～午後3:00

教室所在地：つくば市谷田部2983

(つくば市庁舎近く)

お問い合わせは二の宮事務所まで。

正会員・賛助会員募集！！

ライズの目的に賛同し、活動にご協力いただける個人または団体を、募集しています。

いかに非営利団体とはいえ、適正数のスタッフや教材教具を確保し、サービスの質を確保するためには、それなりの経費がどうしても必要になります。ライズ学園は新しいタイプの学校であるため、公からの援助もまだほとんどありません。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

○年会費

正会員 個人 5,000円

団体 10,000円

賛助会員 個人1口 3,000円 1口以上

団体1口10,000円 1口以上

入会希望の方は二の宮事務所へ、メール・fax・郵送のいずれかにて氏名・住所・電話番号・会員種別・口数を明記の上お申し込みいただき、会費を下記振込先あてにお振り込みください。

■郵便振込みの場合

郵便局 記号10600 35657951
特定非営利活動法人リヴォルヴ学校教育研究所

■銀行振込みの場合常陽銀行

研究学園都市支店店番104

普通 1822778

特定非営利活動法人リヴォルヴ学校教育研究所

理事長 小野村 哲 (オムラ サトシ)